

奈良町まちづくり団体学生会員として奈良町の活かし方

テーマ

奈良町のまちづくり団体の学生会員になって、町家を活用した施設の活かし方、観光、伝統産業、地域コミュニティとのかかわり方を考える。

1 奈良町とは

奈良町は、奈良時代の平城京の外京（げきやう）と呼ばれるエリアを中心に、平安末期の11～12世紀頃寺社の仕事に携わる人々によって形成された。

中世以降、「寺社のまち」、「商工業のまち」、「観光のまち」として、人々の営みとともに発展し、豊かな歴史や文化が育んだ、町家などの歴史的な建物や伝統行事が残り、多くの人々を惹きつける魅力あふれる「まち」になっている。

2 奈良町の魅力とは

中世以降、「寺社のまち」「商工業のまち」「観光のまち」として、人々の営みとともに発展し、育まれてきた豊かな歴史や文化、そして歴史的建造物が多数現存している。

- (1) **観光客にとって、奈良町の価値**
歴史を学び、文化を楽しむ場
- (2) **奈良町住人にとって、奈良町の価値**
愛着、誇り
自分たちのコミュニティの場
観光業・伝統産業の活動拠点
- (3) **まちづくり団体の学生会員にとって、奈良町の価値**
愛着、誇り
自分たちのまちづくり活動実践の場

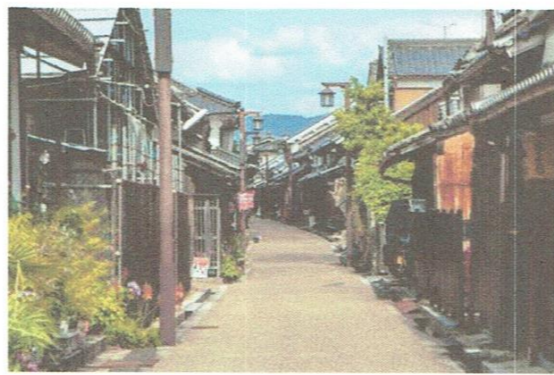


写真 奈良町のようす

3 奈良町における活用資源

中世以降、様々な人々の営みとともに育まれてきた歴史や文化
町家などの歴史的な町並みや建造物
伝統行事、伝統産業、観光産業
地域コミュニティ（担い手）

4 奈良町の施設*の現状（施設スタッフの皆様へのヒアリング）

* 奈良市きたまち転害門観光案内所・奈良町にぎわいの家・奈良町物語館

- (1) **奈良市きたまち転害門観光案内所**
東大寺の転害門横にあった元銀行を観光案内所として利活用している。案内所は地元の自治会や地元ボランティアの方々が自主運営で動かしている。地元の観光スポット紹介をはじめ、工夫を凝らした展示、地元の方の演奏会なども行われており、それらの活動が運営側のやりがいになっている。
問題としては、地元ボランティアスタッフの高齢化・人数の減少による案内所を開く際の一人にかかる負担の増加・SNSに関する知識不足などが挙げられる。

- (2) **奈良町にぎわいの家**
大正時代に古美術商が建てた大規模な町家を、まちづくり団体が指定管理者となって管理し、無料で一般公開した施設である。施設では無料のイベントを開いたり、地元の人々と共に展示を行ったりするほか、自主事業として有料のイベントを開いている。
課題としては、何をすれば更なる来館者の増加が見込めるのかということが挙げられていた。
- (3) **奈良町物語館**
まちづくりセンターが管理している、情報発信の拠点としての町家活用施設である。
新型コロナウイルス感染症により観光客が激減し、2020年6月から2021年5月にかけては施設の年間稼働率が68%にまで落ち込んだ。（図1）
施設運営を、施設利用料金と会員による会費によって賄っていた。そのため、コロナ禍での利用者減少により多大な影響を受けている。また、施設利用者・まちづくりセンター会員の両者の高齢化が進んでいることも問題として挙げられる。

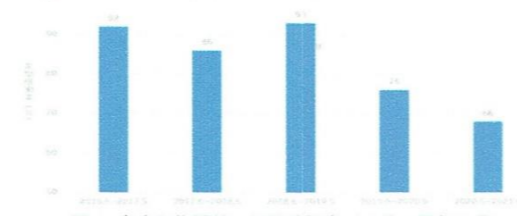


図1 奈良町物語館 年間稼働率（6月～翌年5月）

5 SWOT手法による奈良町と上記施設の分析

強み (Strengths)、弱み (Weaknesses)、機会 (Opportunities)、脅威 (Threats)

強み (S) 1 歴史がある 2 暮らしに息づく伝統文化がある 3 町家が形成され、歴史的建造物がある 4 多様な伝統工芸が息づいている 5 まちづくりを担う地域コミュニティが形成されている 6 高齢者の豊富な知識・技術（転害門観光案内所） 7 多種多様なイベント開催（無料一般公開・にぎわいの家） 8 コンサート、演劇ステージ、作品展示など様々な用途で使える施設（奈良町物語館）	弱み (W) 1 若手担い手の活動が消極的 2 SNSの活用が不十分 3 まちづくり活動予算の不足 4 町家の老朽化と取り壊し 5 まちづくり活動の横の連携がとれていない 6 施設が存在が幅広い世代に知られていない（奈良町物語館）
機会 (O) 1 大阪万博で、多数の外国人観光客の流入が見込まれる 2 ニューツーリズムへのニーズの高まり 3 奈良町への新規転入者(住人)の存在 4 奈良町ファン(観光客)による、まちづくり活動への参画機運の高まり 5 リニア新駅誘致成功により、観光客の流入が見込まれる 6 ESDなどの発展による体験型学習への興味の上昇（転害門観光案内所） 7 イベントによるリピーターの獲得（奈良町にぎわいの家） 8 施設利用者による口コミ（奈良町物語館） 9 YouTube等、SNSを見た観光客の来訪（奈良町物語館）	脅威 (T) 1 コロナ禍における観光の停滞 2 少子高齢化による担い手の減少 3 文化的遺構に対する興味関心の喪失（転害門観光案内所） 4 SNSの発達による地域コミュニティに対するニーズの低下（転害門観光案内所）

OUTPUT（戦略）

1 「まちづくり団体の学生会員」として、町家を活用した「施設の活かし方」

提案1 「現代×伝統文化の新生活様式宿泊 at 町家ホテル」

「奈良町の強み(S)と機会(O)を活かして、短期間で効果を出す」

伝統工芸に興味のある学生が、伝統工芸士と協働で、新型コロナの新しい生活様式にも彩りを添える伝統工芸品のあり方を考える。また、町家ホテルの宿泊場所において、その新しい伝統工芸品を取り揃える。そうすることで、宿泊客に新しい伝統工芸品の魅力を体感してもらうことができる。

主体 … 伝統工芸に興味のある学生 × 伝統工芸士

客体 … 観光客

取組 … 新型コロナの新しい生活様式にも彩りを添える伝統工芸品のあり方の提案と制作

得られる効果 … 伝統工芸品をさらに広める機会となる。

【各者の役割】

- ・伝統工芸に興味がある学生
(1) 新型コロナの新しい生活様式において求められる新しいニーズを提案する。
- ・伝統工芸士
(1) コロナの新しい生活様式において求められる伝統工芸品のあり方を考える。
(2) 上記あり方を踏まえた伝統工芸品を制作する。

提案2 「外国人をターゲットにした町家施設の動画制作」

「奈良町の機会(O)を活用して、弱み(S)を克服する」

語学に興味がある学生が、日本語の町家施設紹介動画に外国語の字幕をつけていく。また今後の動画制作にあたっては、学生と町家施設運営者が協働で、外国人の興味を引き出すコンテンツの町家動画を制作する。

主体 … 語学に興味がある学生

客体 … 町家施設運営者

取組 … 外国人の興味・関心を引き出す動画制作

得られる効果 … 世界中の外国人の、町家の魅力を手軽に知ってもらえる機会が増える
この取組に参加する学生が、町家の魅力の認識を高めるきっかけとなる

【各者の役割】

- ・語学に興味がある学生
(1) 日本語の町家施設紹介動画に外国語の字幕をつける。
(2) 外国人が興味を引くコンテンツの町家動画を制作する。
- ・町家施設運営者
(1) 外国人が興味を引くコンテンツの町家動画を制作し、世界に向けて発信する。

提案3 「一刀彫で有名な森川杜園さんを活かした活用方法」

「一刀彫で有名な森川杜園さんをきっかけに奈良町への観光客の増加を目指す」

一刀彫を主軸とし、絵師や狂言師としても活躍した森川杜園さんは、奈良町にぎわいの家の二軒隣にある生家で

育った。そのような歴史を元に奈良町がすでに事業として取り組んでいる「奈良町=森川杜園」というイメージの定着を、学生団体に所属する学生がサポートを行う。

主体 … 学生団体 × 奈良町にぎわいの家 × 森川杜園さんの企画を行ってくださる方々

客体 … 観光客・学生

取組み … 「奈良町=森川杜園」のイメージ定着を図る

得られる効果 … 更なる観光客の増加・森川杜園さんの認知度の上昇

【各者の役割】

- ・学生団体
(1) SNSなどを活用して「奈良町=森川杜園」のイメージ定着のサポートをする。
(2) 森川杜園について知り、奈良町の更なる魅力の発見に努める。
- ・奈良町にぎわいの家
(1) 既に美術館などで行われている森川杜園展と連携する。
(2) 奈良町にぎわいの家にて行われた森川杜園さんに関する展示会やトーク展を今後も定期的に開催する。
(3) 森川杜園さんの認知度の上昇と更なる観光客の増加を目指す。

【転害門案内所】

提案1 「転害門とその周辺の文化的遺産等を活かした、ESD ツアー」

「奈良にある文化的遺産のツアーを通して、あらゆる世代に遺産学習の意義について学んでもらうと同時に遺産の価値を理解してもらうことができる」

観光・教育に興味のある学生が転害門とその周辺の文化的遺産について深く学んだ後、面白くかつ体系的に遺産について学べ、その学び体験から今後の生活に役立つ技能を習得できるツアーを組み立て、実行する。

主体 … 観光・教育に興味のある学生 × 奈良市きたまち転害門観光案内所をはじめとした、地域の文化的遺産や文献・資料を保管している地域住民

客体 … ツアー参加者

取組 … 遺産について学ぶツアー

得られる効果 … ツアー参加者の文化的遺産に関する理解の深化・思考力向上・奈良町に更に興味を持つ

【各者の役割】

- ・観光・教育に興味のある学生
(1) 奈良の文化的遺産について調査する。
(2) 奈良の遺産の魅力を最大限に伝えられる・参加者の思考力を高め、参加者が奈良町に対して興味を持つツアーを計画する。
- ・奈良市きたまち転害門観光案内所をはじめとした、地域の文化的遺産や文献・資料を保管している地域住民
(1) 奈良の文化的遺産について、学生に教える。

提案2 「転害門とその周辺の文化的遺産等を活かした授業づくり」

「学校での授業を活かし、地域社会の担い手の育成を行う」

教育に興味のある学生が、地域内や地域近隣の小中学校に出向き転害門とその周辺の文化的遺産や現存する文献・資料等を使い、地域について面白く、かつ体系的に教える。

主体 … 教育に興味のある学生 × 奈良市きたまち転害門観光案内所をはじめとした文化的遺産や文献・資料を保管している地域住民

